

あいさつ運動 大賞・優秀賞校 訪問

あいさつの大きな力を
感じました

大賞

手から手へ、
「あいさつタッチ」で
元気をつなぐ

佐賀県
佐賀市立嘉瀬かせ小学校



有田焼、伊万里焼など焼き物で有名な佐賀県。最近では、熱気球の国際大会「佐賀インターナショナルバ

ルーンフェスタ」の開催地としても有名です。

嘉瀬小学校は、このバルーンフェスタ会場の近くにあります。

「あいさつタッチ」とは？

同校のあいさつ運動の特長は、なんとといっても「あいさつタッチ」。あいさつがあまり得意ではなかった子どもたちのために、ハイタッチをしながらのあいさつを、先生が発案しました。

そのおかげで、次第に元気にあいさつができる児童が増え、今ではすっかり習慣に。地域の見守り隊の方やPTAの方とも、「あいさつタッチ」をするようになりました。

また、元気にあいさつタッチを返してくれた子は、その日の校内放送で発表します。20回放送されると、全校朝会で表彰するなど、やる気を

祝! 「あいさつ日本一」 活動発表

平成28(2016)年11月26日(土)、「小さな親切」全国表彰式にて、「大賞」に輝いた同校を表彰しました。表彰後、計画委員の丸田ちひろさん(6年・当時)と、池田美葵さん(5年・当時)が活動を発表。二人は「大賞受賞は驚いたけれど、続けてきてよかった」「これからもあいさつで地域の方と触れ合いたい」と話してくれました。



継続させる工夫もしています。

あいさつ運動の効果を インタビュー

あいさつ運動を主導する計画委員のメンバーが、児童や先生にあいさつタッチの効果をきいてみたところ、「さすがいい」「明るくなる」「(あいさつした人と)仲良くなった気がする」「自分を知ってもらっている」などの感想が。また、地域の方からは「心がやわらかくなった気がする」との声をいただいたそうです。

手と手が触れ合うことで、人のぬくもりを感じ、よりその人が身近に感じられるようになるようです。そしてなにより、朝からテンションが上がって楽しそう!

きっと地域の方も、児童の皆さんに元気をたくさんもらっているのだらうなあ、と感じました。

優秀賞

合い言葉は「Wアイ」
愛をこめて
目を見て

北海道
札幌市立大倉山小学校

スポーツ好きの方なら「大倉山」と聞けばすぐ、スキージャンプ競技場を連想するのではないだろうか。小学校周辺は、かつては冬季五輪も行われた、ジャンプ競技の中心地。学校のすぐ裏にも、練習用のジャンプ台がありました。

寒さに負けない元気なあいさつ

当然、降雪量が多い地域です。雪の対策は悩みの一つです。同校の類家るいけ校長先生によると、「道幅は狭くなりますし、坂道が多いので、登下校時の安全には一番気を使いますね」とのこと。山の斜面にある学校ですので、校門前の道も上り坂。ロードヒーティングが設置されていますが、完全に溶けるまでにはいきません。

そんな雪国ならではの課題がある中、取材日の朝は氷点下9度でしたが、児童は元気に通ってきました。



坂道の上で待ち受けているのは、児童会のメンバーです。

「おはようございま〜す！」

元気な声に呼応して、児童たちはあいさつをしながら続々と坂道を登ります。あいさつ運動を主導する児童会のメンバーに聞くと、「一学期のあいさつ運動開始当時は、あいさつを返してくれる子が3割くらいだったけれど、今はすごく増えてうれしい」とのこと。また、あいさつを返す児童は、みな笑顔なのが印象的です。

オリジナルの キャッチフレーズを活用

実は、同小学校のあいさつ運動には『WAI』愛をこめて、目を見て、という合言葉があります。これも児童会の発案です。目と目をあわせてのあいさつができてるのは、その成果が出ているのでしょう。各教室には、オリジナルの「WAI」ポスターが掲示されていました。

児童会担当の太田智子先生のお話では、学年が異なっているけど、いっしょに遊んだり、声をかけあったりする姿が増えてきたそうです。

あいさつ運動に、子どもにもわかりやすいキャッチフレーズをつけるというのは、とてもいいアイデアだと感じました。

各委員会の連動で ハートあふれる あいさつ運動に！

千葉県

布施学校組合立布施小学校

委員会ごとの持ち場で あいさつ運動

布施小学校のある、千葉県夷隅郡御宿町は、童謡「月の沙漠」のモチーフとなった御宿海岸がある町です。同校は、その御宿町とお隣のいすみ市が出資する布施学校組合による、全国でも珍しい組合立小学校（全国12校／平成28年度現在）です。同校のあいさつ運動の特長は、各委員会が連携して「あいさつ運動」に取り組んでいることです。例えば、放送室には他の委員の代表が集まり、

それぞれが校内放送を行います。

「今日、一日を元気に過ごすために、笑顔で心をこめてあいさつをしましょう」

これは、保健給食委員会からの朝のメッセージ。お昼になると、「ごちそうさまを言いましょ」などに変わります。体育安全委員会からは廊下を歩くときの注意事項が語られ、図書委員会からは友だちと仲良くすること、おすすめの図書の紹介などがあります。また、購買を管理する購買委員会は、「おはようございます！これから購買をあげます」と各教室に声をかけてまわります。同校の吉野康彦校長の話では、これらの活動は、子どもたちが自主的に相談して決めたことだそうです。

登校してくる児童へのあいさつは、計画・放送・JRC（青少年赤十字活動）委員会のメンバーが中心になり、玄関内に並んで一斉に、「おはようございます」の声をあげていました。ちょっとした不思議なことに登校した児童が、教室に行ったらランドセルをおろすと、どんなその列の中に加わっていくのです。

同校は、58名という児童数ですが、最後はその半数くらいが声をあげていました。中には、見守っていた吉

野校長の肩をもみ始める児童もいて、見ていて微笑ましい様子でした。

感動！

「小さな親切」を発見

さらに、ほろつときた場面がありました。あいさつ運動が終わったあと、代表委員たちは下駄箱に向かい、みんなの靴がきれいに収まっているかを確認します。両手で大事そうに靴を揃えている様子を心打たれ、さすがは優秀校！と思つた光景でした。



あいさつ運動に楽しさをプラス！ オリジナル活動グッズ 無料提供中！

学校だけでなく企業やPTA、地域の見守り隊などにもご活用いただいています。

1団体あたりの提供数

- のぼり・3枚
- たすき・10枚
- ポスター2種・4枚
(グリーン×2、ピンク×2)
- あいさつ運動活動事例集・1冊

【申込方法】

詳細はホームページをご覧ください。
(申込用紙がダウンロードできます)

